

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

March / 11 / 2022 # 108

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね!

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『エチュード』

[2] Pepeのひとりごと

『日常にも感謝の気持ちを持って』

[3] おすすめ動画

『World Premiere of Gabriela Ortiz's "Clara" (excerpt)』

『Sibelius's Fifth Symphony Rehearsal』

[4] 演奏のヒント!

『マウスピースと口の密着具合 Part 2』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『エチュード』

みなさん、エチュードの練習って、普段からやっていますか?
学生で、定期的にレッスンを受けている人たちはやっていると思いますが、
社会人プレーヤーの人たちはいかがでしょう?

僕は、かなり前からよくエチュードをさらっています。
こうして書くと、どんどんと新しいエチュードを買ってやっているのかと
思われるかもしれませんが、思い立ったものを改めてやっている、という

状態です。

とは言っても、エチュードもたくさん持っているので、何周してもそれぞれはすごく久しぶりの感じで、とても新鮮ですよ。

エチュード、多くの人はいくつか持っていると思いますが、その中で、全てのページをやっているエチュードというのは、あまりないと思います。

ぜひ、持っているものの中からでいいので、エチュードをどんどんやっていってみてください。選り好みしないで、全て！・・・順番はページ順じゃなくてもいいと思います。

そうすることによって、いろいろなことに対応できるようになってきます！

実は、先日「ジュラシック・パーク」のコンサート（実際の映画を流して、そのサウンドトラックを生演奏でやる、というコンサートです）をやったのですが、そのときに、いろいろなリズムや取りにくい音程（跳躍）などもあったのですが、思っていたよりもスイスイ吹くことができました。シャープがたくさんあるものもありましたが、それらも問題なく。

それは、普段からいろいろなエチュードをやっていることによる成果だと実感したので、ここで共有しておきますね。
日々の努力は、かならず役に立つ時が来ます！ :) ;)

[2] Pepeのひとりごと

『日常にも感謝の気持ちを持って』

まだまだキャンセルになるコンサートが出てきたりもしていますが、だいぶオーケストラの活動も忙しくできるようになってきました。

コンサートがほとんどキャンセルになり、演奏活動がほぼストップされてしまっていた時期は、多くの人がこれまでの演奏活動が普通に行えていた環境に感謝の気持ちを持っていたと思いますが、こうして演奏活動がだいぶ通常のように戻ってきた状態になると、その気持ちを忘れていた人が増えてきたような気がしています。

まあ、そう見えているだけで心の中ではちゃんと感謝をしているのかもしれないので、他の人がとやかく思うことでもないのですが（笑）、僕は、フリーランスの期間がとっても長かったこともあり、コロナ禍で演奏活動がストップされてしまう前から、毎日今の演奏活動ができる環境には感謝をして過ごさせていました。

まあ、人というのは忘れる生き物だと思うのでそれでもいいと思うのですが、僕はこれまで通り、今の環境に毎日感謝をしながら過ごしていこうと思います。

[3] おすすめ動画

『World Premiere of Gabriela Ortiz's "Clara" (excerpt)』

<https://www.youtube.com/watch?v=ppvFLgmGUUc>

今月は、オーケストラのリハーサルの様子の動画を2つ紹介します。こうしてみると、だいぶオーケストラのコンサートも通常通りできるようになってきたようですね（今回はどちらもアメリカのオーケストラの様子ですが）。

仕事柄か、オーケストラのリハーサルの様子って、とっても興味があって見入ってしまいます（笑）。

しかし、弦楽器の人の表情を見られるのって久しぶりの感覚です（うちのオーケストラでは、弦楽器や打楽器の人は常にマスクを着用しないとイケません）。

指揮者もリハーサルでは常にマスクをしていて、コンサートのときだけマスクを外しているの、コンサートのときに初めて顔がすべて見ることができます。

やっぱり、表情があるほうがやりやすいですねえ。 ;)

前置きが長くなってしまいました・・・。

まず1つ目は、New York Philharmonicのリハーサルの様子です。一時期はどうなるかと思っていましたが、またこうして集まって演奏できている状況を見て、ホッとします。 ;)

『Sibelius's Fifth Symphony Rehearsal』

<https://www.youtube.com/watch?v=3RiPAuB2xII>

2つ目の動画は、同じくアメリカのオーケストラのリハーサルの様子です。

これは、The Cleveland Orchestraのリハーサルの様子です。

こちらのほうが、弦楽器の人たちのマスク率は高いですが（どこを気にしてるんだか。笑）、みなさん、やっぱりみんな演奏するのを楽しんでいるような感じがしますね。

みなさんはどうかわかりませんが、僕は、このような動画からもいろいろな刺激を受けます。 ;)

さあ、今日もがんばろう！

[4] 演奏のヒント！

『マウスピースと口の密着具合 Part 2』

先月の続きとなりますが、みなさん、自分の演奏時のマウスピースと口の密着具合について確認してみましたか？

（今月から読んでくださっている方は、ぜひ先月のものも読んでみてくださいね）

表面が平らなマウスピースと平らではない口（唇）を隙間がないように密着させると、もちろんその圧は場所によって変わってきます、ということ为先月書きました。

そこで口の前のほう（唇の真ん中のほう）の圧のことだけを考えて「強く押し付けてはいけない」ということを考えて十分に付けていない人が多いのですが、みなさんは大丈夫でしたか？

ポイントとしては、「マウスピースと口の間に隙間が開かないように」ということです。

密着度がゆるすぎると、しっかりとした圧をかけて息を吐こうとするとその隙間から息が出たり、出ちゃいそうになると思います。まずは、そうならない程度まで「しっかりと」マウスピースを口につけてみてください。そして音を出してみましょう。

どうですか？

これで、音が変わらない人や響きが損なわれる人は、これまでの吹き方でいいと思うので、何も変えないでください。

このとき、音が良くなったり響きが増したような感じがある場合は、マウスピースと口の密着度が足りていなかった（十分でなかった）人なのだと思います。

僕自身も、この発見でいい状態に持っていったことがたくさんありました。

特に、中音域と低音域ですね。

「リラックス」と「しっかりと密着させる」ことのバランスを取るのには、ちゃんとした感覚を持って判断することが簡単ではありませんが、毎日丁寧にチェックしていくことが大切だと思います。

大切なポイントは、「どのくらいの力で密着させるのか」ではありません。しっかりと自分の音を聴いて、より響きのある音になるように毎日微調整をしていってくださいね。

編集後記

今月号で、このメールマガジンも丸9年が経ちました。
いやあ、自分で言うのもなんですが、すごいなあ。 :D

コツコツと何かを続けていくことは、他の人に比べて、どちらかというところではあるのですが、こうして「丸9年」とかになると、本当にコツコツとがんばってきたなあ、と思いますね。 :)

こちらでは、どのような人が購読してくれているのか全くわからないのですが、会ったときに「メルマガ、見えています」といってもらえることがあると、本当に嬉しいです！ :D

どこかの誰かの、何かの役に立てることが少しでもあると嬉しいです（そのためにやっていますから）。

何かリクエストや質問などあれば、気軽に書いてきてくださいね！
メールアドレスは下部に書いてあります。
そのアドレス宛へいつでも気軽にどうぞ！

これからもよろしく願いいたします。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>